

# 金沢教区宗祖親鸞聖人

## 七百五十回御遠忌円成 御礼

金沢教務所長 高桑 敬和

門徒、寺族、有縁の方々の尊い御懇念を賜り、金沢教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要が、先月5月に鶴来・金沢両別院において厳修されました。

そして、昨年12月より本年6月まで、数多くの讃仰事業が開催され、教区内外から多くの方々にご参加をいただきました。

ここに、教区御遠忌法要が円成されましたことにお慶び申し上げますとともに、関係された皆さまの主体的なおはたらきに深く感謝し、御礼申し上げます。

顧みますと、この教区御遠忌について発案されたのは2008年のことです。その後の2013年には、教区御遠忌計画概要として、「教区内全カ寺が聞法の道場としての機能を回復し、門徒・僧侶共に真宗同朋会運動の願いに生きる機縁となる御遠忌を計画する。その初めとして、教区・別院が一体として、御遠忌を厳修する体制を整える」と示されています。

ここにありますように、教区人の願いでありました鶴来別院と金沢別院とを会場に、御遠忌法要が厳修されましたことは、何よりの慶びではないかと拝察いたします。

2019年に金沢別院本堂等御修復工事が完了し、2020年には教区御遠忌法要をお迎えるよう進められていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大等により、二度の延期を経ての本年の厳修となったことです。

この延期によって与えられた時間は、私たちにとって大切な時間となり、改めて教区御遠忌について思考することとなりました。その中で、特に印象に残ったのは「お待ち受け法話」が行われたことです。若手僧侶を中心に、法話と茶話会という場が設けられました。和やかな雰囲気醸成され、門徒・僧侶が共に聴聞し合います。今後の金沢教区にとって、大切にすべき仏事であると受け止めました。

教区御遠忌の円成をお慶びするとともに、仏法領として存在する、未来の金沢教区を夢想します。ありがとうございました。

# 金沢教区・金沢別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

よろこびは、いつもここにー今、親鸞さまに出あう時ー

金沢別院では、5月19日、金沢教区・金沢別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要の初日を迎えました。連日、多くの門徒・僧侶が集い、念仏の声が本堂内に響きわたりました。(法要については、特別号に掲載いたします)



「表白」を拜読される門首



帰敬式



稚児(金澤表参道)



キッチンカーの様子



賑わう境内



舞楽「萬歳楽」



# 金沢教区・鶴来別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

よろこびは いつもここにー今、親鸞さまに出あう時ー

鶴来別院では、5月13・14日の両日、金沢教区・鶴来別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要が厳修されました。13日には、帰敬式（おかみそり）が執り行われ、14日には稚児行列（縁儀）のあと、本堂では舞樂が行われました。



鍵役夫谷浩之氏 御出仕



舞樂「陵王」



帰敬式



14日 日中「行道散華」